

新社長 登場

古きも大切にし、
変化にも対応できるように

サンコーユーインダストリー株式会社

会社概要

所在地 大阪市西区立売堀1-9-28
 資本金 198百万円
 年商 18,392百万円 ('12/2月期)
 事業内容 ねじ及び締結部品の卸売
 U R L <http://www.sunco.co.jp>



代表取締役社長

奥山 淑英 氏

● 略歴

1974年 大阪府東大阪市生まれ
 2000年 佛教大学卒業
 2003年 サンコーユーインダストリー(株)入社
 2004年 商品企画部を設立しカタログ作成担当
 2004年 電算部担当
 2009年 専務取締役就任
 2009年 東京支店担当
 2012年 代表取締役社長就任

新社長として…

- 最近、凝っていること
オートバイを買おうかどうか考えること
- 最近、心がけていること
先義後利
- 就任後、変えたこと
あまりしゃべらず、しゃべる場合は短いセンテンスで

当社は、ねじ及び締結部品の卸売りを大阪で営んでおり2012年で65期を迎えます。創業は祖父で、元々は木ねじという木を留めるねじを専門に卸売りから始まり、その後いわゆる弱電用の小さなねじに特化し、現在はあらゆるねじを取り扱い、アイテム数は約50万点を超えております。「あらゆるねじが揃う」をキーワードとし、圧倒的な品揃えを実現しております。さらに小口小ロット化にも積極的に対応し、ねじの販売店、代理店、小売店様に「お客様のお役に立ち、ありがとうと言われる仕事をする」をモットーにしております。

ねじの市場はねじを締結する人件費の削減と最終製品の低価格化の影響で年々ねじの使用比率が低下しているのが現状です。我々においても今後はさらなる商品展開を実現して早急に取り扱いアイテムを100万点に拡大し、より一層お役に立てる、なんでも揃う卸売りを目指します。

ねじは「産業の塩」と言われながらも、スピード感ある対応が求められ、さらには材質や表面処理等のバリエーションも多いことから、コンピュータによる知識・情報の共有化や在庫を適正に保つことや、発注業務など、効率化を図ることが非常に重要となります。このことから、先代社長時代から物流やコンピュータには積極的な投資を行ってきました。さらに一層進めていきたいと考えております。

今後は「伝統的な商習慣」と「変化していく商習慣」の両方にきちんと対応できるようにしていきたいと考えています。具体的には、営業担当とスタッフによるペア営業の形態でのお客様フォローアップ体制と、販促ツールを使った営業活動が伝統的な部分にあたり、お客様の販売形態の変化に合わせて、例えば発送荷姿を変える等のサービスを実現することが変化していく部分にあたります。

しかし、もっと大切なことは、人材面です。我々は「一生懸命」と「一致団結」を大切にし、とにかくなんでも楽しんで取り組み、成果を上げることができる企業です。これは全社員の頑張りと試行錯誤によるものであり、キャンペーン活動や約25年続いているTQC活動の成果の賜物だと思っています。今後は、より一層楽しんで仕事をしてほしいと感じると共に、のびのびと自由な発想で仕事をしてほしいと心より願います。社員それぞれが自立した一人でありながらも、日本人としての本来である集団生活を大切にしているところは全ての社員に感謝したい部分であります。

日本の今後はより一層多様化が進むことが想定されます。これは、業態へ影響するだけでなく、人材面にも強く影響します。全員が第3次産業化してしまうことがないように、適材適所を実行できるように、たくさんの仕事を作っていきたいと考えています。

誰か一人が苦労するといったことがないように、「みんなで助け合い、みんなで分け合う」そんな企業を作り、現在の厳しい時代をしっかりと渡ることができれば将来に向けて盤石となるのではないかどうかと考えております。それにはまず私も含む全社員が「明るく楽しく元気よく」ができればきっと何事も叶えることができる、そんな組織が新しい時代の組織なのではないかと感じます。